



障がいのある人が

安心して暮らせるまちを目指して

東郷町障がい者計画を策定しました。

▲ワイワイ交流会（障がい者と健常者の交流会）

本町は障がいのある人と健常者がともに地域社会の一員として、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

今回は、「障がいを理解し、共に生きるまちづくり」、「障がいのある人の社会活動参加」、「障がいのある人が安心して暮らせる環境整備」の3つを基本理念に今年3月に策定した東郷町障がい者計画を紹介します。

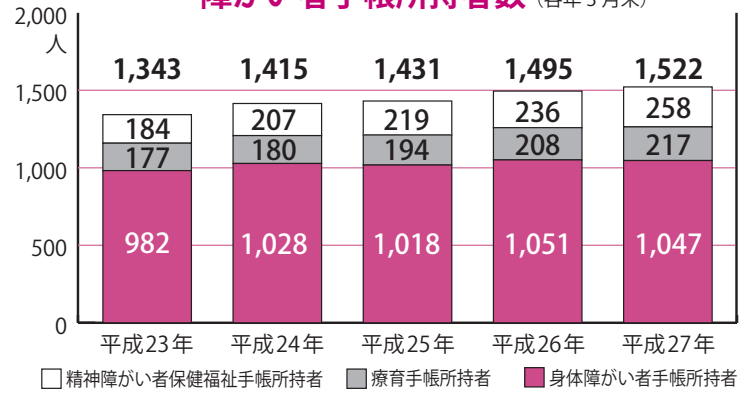
障がいのある人の数の推移

今年3月31日現在の町の人口は42,596人。そのうち、障がい者手帳を所持している人は1,522人（人口比3.57%）です。

その内訳は、身体障がい者手帳所持者が1,047人（人口比2.46%）と最も多く、精神障がい者保健福祉手帳所持者は258人（人口比0.61%）、療育手帳所持者は217人（人口比0.51%）となっています。障がいのある人は、増加傾向にあります。

特に、精神障がい者保健福祉手帳所持者数は、ここ5年で1.4倍と大きく増加しています。

障がい者手帳所持者数（各年3月末）



計画期間と計画の体系図

この計画は、平成27年度から32年度までの6年間が計画期間です。

計画では、3つの基本理念、6つの基本目標、22の施策、そして116項目の具体的な取り組みを実施することにより、障がいのある人が安心して暮らせるまちを目指します。（計画の体系図は左ページを参照）